

2023年3月27日

政策研究大学院大学学長選考・監察会議

## 政策研究大学院大学長の業務執行状況の評価について (2022年度)

### 【業務執行状況の評価】

政策研究大学院大学長大田弘子氏は、2022年9月1日（※）、本学教員から初めて学長に就任した。

大田学長は、長年の本学での経験から、本学の現状に対する深い理解と鋭い問題意識を持ち、学長就任後、優れたリーダーシップを発揮し、スピード感を持って問題の解決に取り組んでいる。

直面する困難な課題に対応するとともに、組織運営改善に向け、業務執行体制の見直し、教職員の人事基本方針の策定、大学運営局の体制強化などに取り組んでおり、適正かつ順調に業務を執行してきたと高く評価する。

### 【今後期待すること】

来年度以降も引き続き、優れたリーダーシップを発揮し、スピード感のある大学運営改善や、ガバナンス強化への取組みを期待する。特に政策研究院に係るガバナンス強化は喫緊の課題であり、集中的な取組みを期待する。

大田学長自身による情報発信も含め、本学の多様な活動の積極的な発信と、産官学連携の推進による本学の研究教育活動のさらなる展開や外部資金の受入れ等にも期待する。

### 【確認経過】

学長選考・監察会議に学長を招いて実施したヒアリング（2022年12月22日、2023年3月27日）を踏まえ、本年度の評価を行った。

※ 前学長の辞任により、2022年4月から学長が空席となっていた。